

## 令和5年度 地域福祉推進セミナー

令和5年6月21日(水)、長野市若里市民文化ホール(長野市若里)において長野市地域福祉推進セミナー兼「参加の力」で創るボランティア・地域活動実践講座「参加の力を『止めない』ポストコロナの地域力アップセミナー」を開催しました。福祉推進員、民生児童委員、住民自治協議会役員、福祉に関心のある方を中心に約250名が参加されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、3年ぶりに市内福祉推進員の皆さんの活動発表の模造紙を掲示することができました。

また、オープニングアクトとして、朝陽地区の協議体「ささえ愛あさひ」の皆さんによる劇団朝陽の公演を皮切りに、第一部では「どうする?!参加 ポストコロナの地域づくり」と題し、令和3年度にリモートでご講演いただいた医師の奥知久先生を迎え、会場の皆さんの参加型で基調講演をいただきました。

奥先生からは様々なパターンで新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、いかに地域の参加を得ながら活動を推進していくか、考えるきっかけをいただきました。改めてコロナについてユーモアに富んだお話をいただくとともに、会場にお越しいただいたみなさんに「こんな時はどうする?」と質問を投げかけいく中で、これからの参加を進めるにあたりヒントとともに、みんなで答えを出す必要性を講演いただきました。

また、第二部では三輪地区本郷区のサロン活動、川中島地区の地域たすけあい事業、朝陽地区南堀区の取組を紹介いただく中でパネルディスカッションを実施。それぞれの活動について、いかに答えを出してきたのか、という点に焦点を当てて開催をしました。それぞれの活動を分析していく中で、「誰のためにその活動があるのか」や「活動を推進する上でのモチベーションがどこから来るのか」、「コロナを含め、安心して活動を推進していいポイント」を共有。学びや考えることの多いセミナーとすることができました。

